

認定こども園との交流

今日、認定こども園あいいくの丘の5歳児さんが竹田小学校



の1・2年生の音楽（合奏と合唱）を観に来てくれました。運動会練習時には全学年の様子を参観いただいたり、5歳児さんの演技をみせていただいたりしてきています。

今回、明日の音楽会に向けて1・2年生の最後の練習を静かにみてくださいました。1・2年生は5歳児さんに見られていることが励みにもなり、またいつもとは違った緊張にもなったようでした。



学校では一番年下の1年生は、5歳児さんにみてもらって、いつも以上に頑張っているのがよく分かりました。



演奏後にそれぞれの学年の良かったところや真似したいと感じたところを伝え合った時には、5歳児さんの中にも手を挙げて感想を発表する子が

たくさんいてびっくりしました。いいところをたくさん見つけてもらった1・2年生はとっても嬉しそうでした。

1年生という学年は、高学年からすればかわいい存在、困っていたら助けてあげたい存在です。私の経験から話をすると、こうした1年生の存在が高学年にとってプラスに働くことが多くあったように思います。しかし1年生にとっては自分でできることもしてもらったり、できないかもとされていることが依存心を増長させたり、自分で自分をコントロールする自律を奪うことになりかねません。私たち教師も1年生の子どもたちの自律を育むようにと、夏には校内研修で『やりたいことは自分で決める』『困ったときに友だちや先生に相談したり助けを求めたりする』姿が低学年の自律した姿ではないかと職員で話し合いました。

明日は、音楽会です。保護者・ご家族の皆さんには運動会や10月の参観日からまた成長した子どもたちの姿をご覧いただければ嬉しいです。私もこれまでの練習での頑張りとあわせて明日の演奏を楽しみにしたいと思います。